

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文	学年	2
				コース	S
	使用教科書		『現代文B』 数研出版	履修単位数	文3・理2
学習目標	物事を抽象化して捉える力、常識を相対化する力を鍛えることにより、自分の生き方や社会のあり方についてより深く考えられるようにする。また、言葉の構造・文章の構造を理解しながら、論理的に思考する力・表現する力を身につける。さらに、現代文問題について解法の技術を身につける。			評価の観点	定期試験を軸に、授業での文章記述、S統一テスト、授業態度などを元に総合的に判断する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	1. 「国境を越える言葉」	1 ・「悪魔」「倫理」「利己心」などのキーワードに沿って本文を読み取る。 ・「共有地の悲劇」についての具体例を、筆者の+G14主張に結びつけて理解する。 ・経済学、環境問題、資本主義など、現代社会を考えるために必要不可欠な事項に関する基本的な考え方を学ぶ。			
5	2. 「山月記」 (3. 問題演習：文系)	2 ・登場人物の言動からその性格と心情について考える。 ・主人公の生き方や考え方を自己の問題としてとらえ、作品の主題について考える。 3 ・現代文問題の解法を体得する。			
《第1回定期試験》					
6	1. 「『胆力』について」	1 ・逆説的表現によって筆者の主張が効果的に伝えられていることを理解する。 ・「知性」というものの本質について考える。			
7	2. 「『内的成長』社会へ」	2 ・「近代」や「現代」の特徴と、コミュニティの関係を理解する。 ・「中間社会」崩壊の現状や、筆者の言う「内的成長」社会の中身を考える。			
9	3. 読書プレゼンテーション (4. 小論文演習：文系)	3 ・自ら選んだ本について、プレゼンシートを使いながら発表する。 ・内容をまとめる力、プレゼン能力を伸ばす。 4 ・課題文の主題を的確に読解する。 ・設問を分析し、課題文の主題に対応した小論文を書く。 ・互いに文章を評価し合うことで、意欲的に文章を推敲する。			
《第2回定期試験》					
9	1. 「未来世代への責任」	1 ・「悪魔」「倫理」「利己心」などのキーワードに沿って本文を読み取る。			
10	2. 「疑似群衆の時代」	・「共有地の悲劇」についての具体例を、筆者の主張に結びつけて理解する。			
11	3. 問題演習	2 ・「映像」と「群衆」という二つのテーマが相互に関わりながら文章全体の論を構成していることを理解する。 ・現代社会が抱える諸問題について、多角的な視点から考えることの重要性を理解する。 3 ・現代文問題の解法を体得する。			
《第3回定期試験》					
12	1. 「日本語は非論理的か」	1 ・文章の展開と構造を正確にとらえさせ、筆者の主張を読み取る。 ・筆者の使用する語句の意味や、論理についての筆者の考え方を理解する。 ・日本語の「論理的」な使用法について考える。			
1	2. 「知識社会という幻想」	2 ・世間一般の「知識社会」のとらえ方と筆者の主張する「知」のあり方について理解する。 ・「譲歩」→「逆接」という論の展開を習得する。			
2		3 ・複数の解釈が可能な言葉や行為について、登場人物の立場や状況を踏まえて整理する。			
《第4回定期試験》					
3	3. 「ころ」				
副教材	『現代文キーワード読解』 Z会 『入試漢字+現代文重要語 TOP 2500』 いいずな書店				

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	古典	学年	2
				コース等	S文系
	使用教科書		『古典B』数研出版	履修単位数	4
学習目標	語彙や文法事項を身につけ、正確な読解ができるようにし、たくさんの優れた作品に触れ、豊かな教養を身につける。また、作者の境遇や作品の時代背景に迫りながら、古人の文化や風俗についての知識を深める。そして、古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深める。			評価の観点	定期試験、授業内での小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価をする。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	説話「大江山」(『十訓抄』)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の助動詞の意味と活用形を理解する。 ・和歌の内容と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る。 ・文章中の和歌に使用されている表現技法を理解する。 ・和歌に用いられている修辞法を理解し、和歌が文章の内容と一体になって表現上の効果を生み出していることを理解する。 			
5	歌物語「初冠」(『伊勢物語』) 故事「漱石枕流」				
《第1回定期試験》					
6	随想「春はあけぼの」(『枕草子』)	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な序文から古文のリズムや語感を味わい、古文に慣れ親しむ。 ・当時の宮廷や貴人の生活の様子を読み取り、理解を深める。 ・敬語の種類、敬意の方向などを学び、古文敬語を理解する。 ・「に」の識別を理解する。 			
7	「御前にて、人々とも」(『枕草子』) 故事「画竜点睛」				
9	漢詩 絶句・律詩	<ul style="list-style-type: none"> ・張僧繇の書いた竜の絵の特徴をまとめる。 ・使役の句法を復習する。 ・漢詩の構成上・音声上の規則を理解して、読み味わう。 ・表現方法や思想が、日本の文学に影響を与えていることを理解する。 ・疑問・反語の句法を復習する。 			
《第2回定期試験》					
9	日記文学「東路の道の果て」(『更級日記』)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぬ」の識別を理解する。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、作者の物語に没頭する様子を読み取る。 ・古文読解に必要な語彙力・文法的知識の定着を図る。 ・受領階級の貴族の状況や平安時代の物語文学についての知識を得る。 			
10	日記文学「物語」(『更級日記』)				
11	史伝「鴻門之会」(『史記』)				
《第3回定期試験》					
12	物語「光源氏誕生」(『源氏物語』)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典文学最高峰の作品について、序章に触れることを機として話の全容を理解し、古典文学への興味関心をさらなるものとさせる。 ・「源氏物語」「紫式部」と双璧をなす「平家物語」及び「清少納言」と対比させながら、作品の背景にまで思いを巡らせ、作品を味わう。 			
1	物語「藤壺の内入」(『源氏物語』) 史伝「四面楚歌」(『史記』)				
2		<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・現在日本でも耳にする成語の背景から、時代も場所も問わない普遍的な出来事や感性があることや、言葉が持つ奥深さを感じ取る。 			
《第4回定期試験》					
3	和歌「古今和歌集仮名序」	<ul style="list-style-type: none"> ・巧みな表現技法や現代に通ずる感性に触れ、古人の人生や価値観を感じ取れるようにする。 			
副教材	『みるみる覚える古文単語300+敬語30』いっずな書店 『完全マスター古典文法』第一学習社				

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	古典	学年	2
				コース等	S理系
	使用教科書		『古典B』数研出版	履修単位数	3
学習目標	語彙や文法事項を身につけ、正確な読解ができるようにし、たくさんの優れた作品に触れ、豊かな教養を身につける。また、作者の境遇や作品の時代背景に迫りながら、古人の文化や風俗についての知識を深める。そして、古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深める。			評価の観点	定期試験、授業内での小テスト、提出物、授業態度などを総合的に評価をする。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	説話「大江山」(『十訓抄』)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の助動詞の意味と活用形を理解する。 ・和歌の内容と文章の関係をふまえ、登場人物の心情を読み取る。 ・文章中の和歌に使用されている表現技法を理解する。 ・和歌に用いられている修辞法を理解し、和歌が文章の内容と一体になって表現上の効果を生み出していることを理解する。 			
5	歌物語「初冠」(『伊勢物語』) 故事「漱石枕流」				
《第1回定期試験》					
6	随想「春はあけぼの」(『枕草子』)	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な序文から古文のリズムや語感を味わい、古文に慣れ親しむ。 ・当時の宮廷や貴人の生活の様子を読み取り、理解を深める。 ・敬語の種類、敬意の方向などを学び、古文敬語を理解する。 ・「に」の識別を理解する。 			
7	「御前にて、人々とも」(『枕草子』) 故事「画竜点睛」				
9	漢詩 絶句・律詩	<ul style="list-style-type: none"> ・張僧繇の書いた竜の絵の特徴をまとめる。 ・使役の句法を復習する。 ・漢詩の構成上・音声上の規則を理解して、読み味わう。 ・表現方法や思想が、日本の文学に影響を与えていることを理解する。 ・疑問・反語の句法を復習する。 			
《第2回定期試験》					
9	日記文学「東路の道の果て」(『更級日記』)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぬ」の識別を理解する。 ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、作者の物語に没頭する様子を読み取る。 ・古文読解に必要な語彙力・文法的知識の定着を図る。 ・受領階級の貴族の状況や平安時代の物語文学についての知識を得る。 			
10	日記文学「物語」(『更級日記』)				
11	史伝「鴻門之会」(『史記』)				
《第3回定期試験》					
12	物語「光源氏誕生」(『源氏物語』)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典文学最高峰の作品について、序章に触れることを機として話の全容を理解し、古典文学への興味関心をさらなるものとさせる。 ・「源氏物語」「紫式部」と双璧をなす「平家物語」及び「清少納言」と対比させながら、作品の背景にまで思いを巡らせ、作品を味わう。 			
1	物語「藤壺の内入」(『源氏物語』) 史伝「四面楚歌」(『史記』)				
2		<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現に注意して文脈をとらえ、登場人物の心情を読み取る。 ・現在日本でも耳にする成語の背景から、時代も場所も問わない普遍的な出来事や感性があることや、言葉が持つ奥深さを感じ取る。 			
《第4回定期試験》					
3	和歌「古今和歌集仮名序」	<ul style="list-style-type: none"> ・巧みな表現技法や現代に通ずる感性に触れ、古人の人生や価値観を感じ取れるようにする。 			
副教材	『みるみる覚える古文単語300+敬語30』いっずな書店 『完全マスター古典文法』第一学習社				